



世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 18 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

中国は、およそ 360 年にわたる分裂時代を経て、589 年に隋によってふたたび統一された。この王朝は、前代から諸制度を引き継ぎつつ、皇帝権の確立に力を注いだが、短命に終わり、618 年に唐がこれに代わった。この王朝のもとで、中国には整然とした国家制度がつくりあげられ、安定した体制のもとで国際色豊かな文化が開花した。同時に、漢代以来の伝統文化も尊重されて後の時代に伝えられた。東アジアには中華帝国を中心とした国際秩序が形成され、それは周辺国の社会や文化にも多大な影響をおよぼした。

しかし 8 世紀になるとしだいに唐の支配体制も変化していった。特に 8 世紀半ばの安史の乱以降は、国家を支えていた小農民の没落が進み、王朝の権威もしだいに失われていった。そして 907 年に唐は滅亡し、代わって後梁が成立した。

その後の混乱期にも唐の文明は引き継がれたが、社会は大きな転換の時代に入った。そして 960 年の宋(北宋)の成立により、中国の歴史は新たな段階を迎える。大運河の物資流通の拠点である開封を都としたこの王朝のもとで、中国では新たに成長した都市を中心とする活発な経済活動が展開した。しかし政府は国防費や官僚組織の維持費など膨大な歳出に悩まされ、11 世紀後半には王安石を中心として新法と呼ばれる改革が進められた。しかしこれには反対も強く、政治は安定しなかった。加えて北方では諸民族自立の動きが強まり、12 世紀前半には金と対立した結果、靖康の変によって宋はいったん崩壊し、その後南宋が新たに建てられた。

政治的には大きな動乱にみまわれたものの、北宋、南宋、そして金のもとで、中国は社会・経済両面にわたって新たな展開を見せた。対外的には、従来の朝貢貿易に民間の貿易も加わって、国際的な商品流通が展開し、海港都市も発達した。活発な経済を背景に、幅広い階層におよぶ文化活動がみられたのも、この時代の特徴である。

設問 1. 下線部(1)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 律令を制定した。
- B. 首都として、長安に大興城を築いた。
- C. 大運河の完成により、江南と華北が結びつけられた。
- D. 突厥への遠征に失敗した結果、全土で農民反乱が生じた。

設問 2. 下線部(2)に関連して、成立期の唐の体制に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 政務執行機関としての御史台が設けられた。
- B. 兵農一致の徴兵制度である府兵制が前の時代から受け継がれた。
- C. 州県制がしかれ、州と県の長官は中央から派遣された。
- D. 高級官僚には大土地所有が認められていた。

設問 3. 下線部(3)に関連して、唐の時代に古文の尊重を唱えた人物として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 歐陽脩
- B. 蘇軾
- C. 柳宗元
- D. 呉道元

設問 4. 下線部(4)に関連して、唐の制度や文化が与えた影響を示すものとして、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 日本の班田収授法
- B. 渤海の上京竜泉府
- C. 新羅の官僚制
- D. チベット文字

設問 5. 下線部(5)を建国した人物の名を解答欄に記入しなさい。

設問 6. 下線部(6)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。(この問題は、正解が複数存在したことが大学側から公表されています。)

- A. 茶・塩・酒などの専売による国家収入の増大を図った。
- B. 節度使には武人が優先的に任命された。
- C. 形成戸が新興地主層として勢力をのばした。
- D. 科挙が官吏登用法の中心として整備された。

設問 7. 下線部(7)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 青苗法は、小農民への金銭や穀物などの低利貸し付けを定めたものである。
- B. 市易法は、物資流通の円滑化と物価安定をめざしたものである。
- C. 保甲法は、民間での軍馬飼育を奨励するものである。
- D. 募役法は、民兵の訓練や治安維持の方法を定めたものである。

設問 8. 下線部(8)およびその結果に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 前皇帝の徽宗と皇帝の欽宗が捕虜となった。
- B. 高宗が臨安を首都として南宋を建てた。
- C. 長江を境界線として金が北部を領有した。
- D. 南宋は、毎年、銀や絹を貢ぎ物として金に送ることになった。

設問 9. 下線部(9)に関連して、日宋貿易における、宋から日本への主な輸出品として、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 貨幣
- B. 砂金
- C. 書籍
- D. 陶磁器

設問10. 下線部(10)に関連して、唐代の広州に初めて設置され、宋代には他の都市にも置かれた海上交易を管理する役所の名称を解答欄に記入しなさい。

設問11. 下線部(11)に関連して、北宋、南宋および金の時代の文化に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 道教に浄土宗の影響が加わって、全真教が成立した。
- B. 儒学の経典の字句解釈を重んじる訓詁学が、周敦頤らによって広められた。
- C. 庶民文化としての小説や雑劇が発達した。
- D. 士大夫層の文人を中心に、院体画が流行した。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

中世末から近世にかけて、ヨーロッパでは少しずつ主権国家体制が確立していった。中世には諸侯、教会施設、都市などが高い自立性を維持しており、国王の支配は偶々にまでは行き渡ら⁽¹⁾なかった。しかし数百年にわたる大きな政治的・社会的変動を通して、国王は最高権力者としての地位をしだいに築いていった。

この過程で生じた重要な変化の一つは、アジアからアフリカの沿岸地域で海を舞台に展開していた広域ネットワークにヨーロッパ人が直接参入し、特に大西洋に面する諸国が交易による莫大な富を求めて進出し始めたことである。ヨーロッパ人によって「発見」されたアメリカ大陸もまた、短期間のうちにこの交易網に組み込まれた。先陣を切ったポルトガルおよびスペインは、16世紀には世界各地に拠点⁽²⁾を設けて海洋帝国を築き、両国の商船は世界中の大洋を行き来するようになった。こうした動きに伴って農産物なども相互に持ち込まれ、その土地⁽³⁾の生活や社会⁽⁴⁾を大きく変えていった。

近世ヨーロッパに生じたもう一つの重要な動きは、長期間ヨーロッパに君臨してきたローマ=カトリック教会に対する挑戦である。教皇庁の絶対的権威に対する疑念はすでに中世後期から表明されていたが、16世紀ドイツに生じた改革運動は、本格的な宗教紛争へと発展した。⁽⁵⁾そして人文主義の広まりや世俗権力からの支援を背景に、各地で多様なプロテスタント諸宗派が成立し、ヨーロッパは宗教的に大きく分裂することになった。ローマ=カトリック教会は、トリエント公会議⁽⁶⁾を開催するなど自ら徹底した改革に着手することによってこの危機の克服を試み、また海外への積極的布教を試みて成果を上げた。⁽⁷⁾

国王を中心とした国家権力強化の試みは、各地で異なる展開を見せた。中世後期から諸侯の自立傾向が強かった神聖ローマ帝国⁽⁸⁾は、皇帝側の努力にもかかわらず分裂傾向をいっそう強め、国家権力は主に領邦単位で確立していった。これに対して、百年戦争後に徐々に王権の強化を進めていたフランスでは、宗教紛争を乗り越えて国王の絶対的権力の確立に向かった。またイギリスは、スペインに対抗して海外へも進出し、さらに独自に宗教改革を実現させて強国への道⁽⁹⁾をたどった。しかし17世紀には王権強化への反発に宗教問題が結びついて革命がおこ⁽¹⁰⁾

り、議会主体の政治をめざしていくことになった。また、神聖ローマ帝国の一部であったネーデルラントでは本格的な独立運動がおり、16世紀末にはネーデルラント連邦共和国(オランダ)が誕生した。⁽¹⁾ こうしてヨーロッパは主権国家体制を作り出していったが、それは各地で激しい国家間戦争や内戦を引きおこし、多くの犠牲を伴いつつ進んだ過程でもあった。⁽²⁾

設問 1. 下線部(1)に関連して、ヨーロッパの中世都市とその活動に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ドイツでは、皇帝の特許状によって自治を獲得した帝国都市が発達した。
- B. イタリアでは、周辺の農村も併合した独立性の強い都市国家が発達した。
- C. 自治都市において市政を独占する商人ギルドに対して、手工業者の同職ギルドが展開した闘争は、ツunft闘争と呼ばれる。
- D. ハンザ同盟が支配した北ヨーロッパ商業圏では、絹織物や宝石が主要な取引品目であった。

設問 2. 下線部(2)が16世紀に東方貿易の拠点とした都市として、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ゴア
- B. カルカッタ
- C. 平戸
- D. マカオ

設問 3. 下線部(3)に関連して、16世紀にスペインやポルトガルが遠洋航海に用いた帆船は何と呼ばれるか、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ガレオン船
- B. ダウ船
- C. ジャンク船
- D. ガレー船

設問 4. 下線部(4)に関連して、大航海時代の到来の後、ヨーロッパ人がアメリカ大陸に持ち込んだ農産物として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. トウガラシ
- B. トウモロコシ
- C. サトウキビ
- D. カカオ

設問 5. 下線部(5)に関連して、1530年にルター派の諸侯と都市が皇帝に対抗して結んだ同盟の名を解答欄に記入しなさい。

設問 6. 下線部(6)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ルター派は主にドイツからネーデルラントやフランス北部に広まった。
- B. ミュンツァーを指導者とする農民たちは、領主制の廃止を主張した。
- C. ツヴィングリは『キリスト教綱要』を著して長老制を導入した。
- D. カルヴァンはバーゼルで神権政治をおこなった。

設問 7. 下線部(7)と直接関連しないものを、以下から一つ選んでマークしなさい。

- A. 禁書目録の制定
- B. 宗教裁判所の強化
- C. イエズス会の創設
- D. 教皇の至上権の確認

設問 8. 下線部(8)に関連して、中世から近世にかけての神聖ローマ帝国に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. エルベ川以東への植民が進んだ結果として、ブランデンブルク辺境伯領やドイツ騎士団領が成立した。
- B. 皇帝フリードリヒ 2 世は、金印勅書を発布して皇帝選挙の手続きを明文化した。
- C. 皇帝ジギスムントは、ラテラノで開かれた公会議で教会大分裂(シスマ)を解消させた。
- D. スイスは、ホーエンツォレルン家の支配に抵抗し、17 世紀に正式に帝国からの独立を果たした。

設問 9. 下線部(9)に関連して、エリザベス 1 世がイギリス独自の教会体制を確立するために 1559 年に制定した法の名称を解答欄に記入しなさい。

設問10. 下線部(10)に関連して、17 世紀イギリスに関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. チャールズ 1 世の政策に反発した議会は、人身保護法を作って対抗した。
- B. クロムウェルは長老派の拠点とみなしたアイルランドに遠征し、大量の土地を没収した。
- C. 共和政時代に、対外戦争に備えることを目的に、イングランド銀行が設立された。
- D. 権利の章典は、議会在が同意しない課税や立法を否定した。

設問11. 下線部(11)に関連して、独立後のネーデルラント(オランダ)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 7州がそれぞれ議会を持っていた。
- B. 台湾に進出してスペインと争った。
- C. ケープ植民地を建設した。
- D. コルネイユやモリエールが活躍した。

設問12. 下線部(12)に関連して、近世ヨーロッパの戦乱とその経過に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 小銃や大砲の本格的な使用や規律的隊形の導入により、騎士が没落し、国家による強力な軍隊の創設が促された。
- B. イタリア戦争の悲惨さに直面したボーダンは、強力な王権による平和と秩序の回復を主張した。
- C. 神聖ローマ帝国では、アウクスブルクの和議により宗教紛争が収拾され、信仰の自由が個人にまで拡大された。
- D. フランスでは高等法院と結んで権力を強化しようとした国王に対して、貴族や民衆がフロンドの乱をおこした。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

仏教の開祖である(ア)は、紀元前5、6世紀にヒマラヤ山麓の小国の王子として生まれ、結婚後に悟りを求めて修行の道に入り、悟りをひらいた後にその教えを(1)広め、80歳近くで亡くなったとされている。(ア)が悟りを求めたのは、その当時、武士階層や商人階層の間で祭礼至上主義に疑問を持ち、内面の(2)思索を重視する考えが広まっていた状況が背景にあった。

前4世紀に入ると、アレクサンドロス大王がアケメネス朝を滅ぼして西北インドまで進出した影響で、インダス川流域では様々な政権が誕生した。前4世紀の終わりには、そうした混乱が克服され、インド最初の統一王朝であるマウリア朝が成立する。この王朝の第3代の王(イ)は征服活動のうえで多くの犠牲を出したことを悔い、仏教に(3)帰依し、教えを各地に広めた。

前1世紀にはイラン系の民族による(ウ)がおこり、国王の保護のもとで仏教が栄えた。また、この時代は東西間の貿易で栄えたため、仏教文化にも(4)こうした交流の影響が見られるようになる。

紀元前後には、僧侶が戒律を厳格に守り、個人が修行をもとに悟りを求めている仏教に対する批判的な立場から、大乘仏教が(5)発達し、仏教は大きく二つの道に分かれた。その後、インドでおこったグプタ朝(6)の時代に仏教は教学研究が盛んとなるが、民衆の宗教としては(エ)が興隆し、仏教は衰退の道をたどっていった。しかし、この時代の中国では仏教が発展し、その過程で多くの宗派が生まれ、異説が多くなった。このような背景から、唐の時代には玄奘が原典を求めてインドへと渡った。この後、仏教は(7)東アジア、東南アジア、南アジアへと伝播し、形を変えながら現地に定着し、現在に至っている。

設問 1. 空欄(ア)にあてはまる人名を解答欄に記入しなさい。

設問 2. 下線部(1)に関連して、その当時の仏教の教えとして適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 絶対的な帰依が極楽浄土への道へとつながると説いた。
- B. 解脱に至るための方法として八正道の実践を説いた。
- C. ヴェーダに基づく祭礼やヴァルナ制を否定した。
- D. 極端に走らない中道を取るのがよいと説いた。

設問 3. 下線部(2)のような思想は何と呼ばれるか、解答欄に記入しなさい。

設問 4. 空欄(イ)にあてはまる王の名としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ハルシャ王
- B. チャンドラグプタ王
- C. アショーカ王
- D. カニシカ王

設問 5. 下線部(3)に関しておこなわれたこととして適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 磨崖仏が各地に作られた。
- B. スリランカに教えが伝えられた。
- C. 仏典結集がおこなわれた。
- D. ダルマに則った勅令が広められた。

設問 6. 空欄(ウ)にあてはまる王朝名としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. サータヴァーハナ朝
- B. シュンガ朝
- C. チョーラ朝
- D. クシャーナ朝

設問 7. 下線部(4)に関する説明としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ギリシアから流入した銀による経済的繁栄の影響が見られる。
- B. セレウコス朝から自立したバクトリアの文化が影響を与えた。
- C. この時期の仏教は、密教文化と融合しチベットを通じて日本へと伝わった。
- D. ヘレニズム文化の影響を受け、ギリシア的なマトゥラー仏が作られた。

設問 8. 下線部(5)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 鳩摩羅什によって理論化された。
- B. 菩薩信仰が発生し、発達した。
- C. 中央アジアへと伝わったため北伝仏教ともいわれる。
- D. 阿弥陀などの如来思想が説かれた。

設問 9. 下線部(6)に関する説明としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. サンスクリット文学が最盛期を迎えた。
- B. 農耕定住民であるエフタルの侵入により衰退した。
- C. プルシャプラに都がおかれた。
- D. 『リグ=ヴェーダ』が完成し、広まった。

設問10. 空欄(エ)にあてはまる宗教名としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. マニ教
- B. ヒンドゥー教
- C. バラモン教
- D. ゴロアスター教

設問11. 下線部(7)に関連して、主に仏教を信奉していた国名、王朝名として適切
でないものを一つ選んでマークしなさい。

A. マジャパヒト王国

B. パガン朝

C. スコータイ朝

D. シュリーヴィジャヤ王国

〔Ⅳ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

カルパティア山脈の北方を居住地とするスラヴ人⁽¹⁾は、6世紀になるとビザンツ帝国北側に広がっていった。東スラヴ人が住むロシア⁽²⁾では、9世紀にスウェーデン系ノルマン人が国家を築いたが、まもなく先住民に同化してスラヴ化し、10世紀末に最盛期を迎えた。その後、農民の農奴化と貴族の大土地所有がすすむと、諸侯が多数分立して国内は分裂した。13世紀にはモンゴル人が侵入し、ロシアは240年にわたってモンゴルの支配に服した。

15世紀になるとモスクワ大公国⁽³⁾が勢力を伸ばして東北ロシアを統一し、モンゴルの支配から脱するとともに農奴制を強化し、中央集権化を図るようになった。

1613年にロマノフ朝が開かれると、専制支配と農奴制がさらに強化されたため、農民反乱がおこった。17世紀末に即位したピョートル大帝⁽⁴⁾は、自ら西欧諸国を視察するなどして、ロシアの西欧化と近代化に努めた。

ピョートルの事業を受け継いだエカチェリーナ2世は、当初は啓蒙専制君主として種々の改革に取り組んだが、再びおきた農民の反乱⁽⁵⁾を受けて農奴制を強化するとともに領土の拡大に努め、1772年には、プロイセン、オーストリアとともにポーランド分割⁽⁶⁾に加わった。

⁽⁶⁾ ナポレオン戦争後のウィーン体制を支える列強のひとつとなったロシアは、強大な軍事力を背景に、各国と同盟を結んでヨーロッパ大陸での発言力を強めた。同時に、南下政策を推し進めたため、オスマン帝国と対立し戦争となったが、この戦争に敗れたことから改革を迫られ、農奴解放令を出して農奴に人格的自由を認めた。しかしながら、ヨーロッパの列強体制の再構築を進めるために1873年に同盟を結び⁽⁷⁾、パン=スラヴ主義を利用して勢力の拡大を図ったため、バルカン⁽⁸⁾を舞台に再びオスマン帝国と対立し、戦争となった。

19世紀末になると、フランスからの資本導入によって工業化が急速に進展したが、外国資本傘下工場などの労働条件は劣悪なものであった。そのため、工場労働者のストライキ⁽⁹⁾がおこり、農村でも激しい農民運動が展開され、さらには知識人や社会主義者、自由主義者も政治・社会改革を求める運動をおこした。

また、日露戦争で敗北したことからバルカンへの進出策に転じると、ドイツやオーストリアと衝突するようになった。そして、第一次世界大戦が勃発すると、厳しい統制経済を敷いたため、反戦デモやストライキが広がり、労働者や兵士は自治組織ソヴィエトを組織して革命を推進し、皇帝を退位させた。⁽¹⁰⁾

臨時政府によって戦争は継続されたものの、1917年11月にボリシェヴィキが武装蜂起して新政権の成立が宣言され、さらに全交戦国に無併合・無償金・民族自決の原則による講和が呼びかけられた。⁽¹¹⁾

革命政権の樹立後も、ロシアの情勢は安定しなかったが、1921年に新経済政策(ネップ)が導入されて国民経済は回復に向かい、⁽¹²⁾1922年にシベリアから日本軍が撤退した後、ソヴィエト社会主義共和国連邦が成立した。

設問 1. 下線部(1)に関連して、ヨーロッパ各地に広がったスラヴ人に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. セルビア人は当初ビザンツ帝国に服属してギリシア正教に改宗したが、クロアチア人やスロヴェニア人はフランク王国の影響下でローマ=カトリックを受け入れた。
- B. ポーランドはカジミェシュ 3 世の時代にリトアニアを征服して支配下に置いた。
- C. モラヴィアは、マジャール人の進出を受け衰退した。
- D. ベーメンは、11 世紀に神聖ローマ帝国の一部となった。

設問 2. 下線部(2)に関連して、9 世紀からモンゴルの支配に服するまでの間のロシアに関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ノルマン人がドニエプル水系を利用して黒海まで進出した。
- B. キエフ公国はギリシア正教を国教として建国された。
- C. ウラディミル 1 世がツァーリの称号を用いたことが、専制を意味するツァーリズムの語源となった。
- D. バトゥ率いるイル=ハン国がキエフ公国を滅ぼした。

設問 6. 下線部(6)に関連して、ポーランド分割に反対する闘争を展開し、死後ポーランド解放のシンボルとなった人物の名を解答欄に記入しなさい。

設問 7. 下線部(7)に関連して、1873年にドイツ、オーストリア、ロシアの間で結ばれた同盟の名として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 三国同盟
- B. バルカン同盟
- C. 三帝同盟
- D. 神聖同盟

設問 8. 下線部(8)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. パリ条約により、モルダヴィア・ワラキアの独立が認められた。
- B. サン=ステファノ条約により、ブルガリアは自治を承認され、ロシアの保護下に置かれた。
- C. ベルリン条約の締結により、ロシアの南下政策が国際的に承認された。
- D. ベルリン会議において、ドイツがバルカン方面の権益を拡大させた。

設問 9. 下線部(9)に関連して、20世紀初頭のロシアの政治・社会情勢に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. マルクス主義を掲げるロシア社会民主労働党が結成されたが、創設直後にレーニンらのボリシェヴィキとプレハーノフらのメンシェヴィキに分裂した。
- B. 司祭ガボン率いる平和請願デモ隊に対して軍隊が発砲し、血の日曜日事件がおこった。
- C. ナロードニキの流れをくむ社会革命党が結成され、専制政治の打倒と農民への土地再配分を求めた。
- D. ストルイピン率いる立憲民主党主導の政権は、ミールの解体などの土地改革を中心とする内政改革を推進した。

設問10. 下線部(10)に関連して、1917年のロシア革命に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 中央アジア諸民族の動員に抗議して、3月8日にペトログラードで大規模な民衆デモやストライキが発生した。
- B. 皇帝ニコライ2世の退位に伴い、ロシア暦はグレゴリウス暦に変更された。
- C. 臨時政府首相のケレンスキーは大衆運動を弾圧し、メンシェヴィキを非合法とした。
- D. レーニンが亡命先のスイスから帰国し、「すべての権力をソヴィエトへ」をスローガンとする四月テーゼを発表した。

設問11. 下線部(11)の呼びかけの名称を解答欄に記入しなさい。

設問12. 下線部(12)に関連して、新経済政策が採用されるまでのロシアの情勢に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ドイツは、西部戦線を有利に展開するために、ブレスト=リトフスク条約においてロシアに譲歩した。
- B. 憲法制定会議が封鎖されて共産党による一党支配となり、地主の土地の無償没収と農民への分配、工業・銀行・貿易の国家管理が実行された。
- C. 戦時共産主義が実施され、賃金の現物支給、労働義務制、食糧配給制、農民からの穀物徴発などが強行された。
- D. 革命政権を防衛するための治安組織としてチェカ(非常委員会)が設置された。